

報道関係者各位

## 千葉県袖ヶ浦市と「プラスチックごみ削減の推進に関する協定」を締結

浄水型ウォーターサーバーのレンタル事業を行うウォータースタンド株式会社（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：本多 均、以下当社）は、2023年8月23日（水）に千葉県袖ヶ浦市（市長：粕谷 智浩）と「プラスチックごみ削減の推進に関する協定」を締結したことをお知らせいたします。



▲（右より）袖ヶ浦市長 粕谷 智浩様、ウォータースタンド株式会社関東第2支社長 遠藤 貴之

## ■袖ヶ浦市長 粕谷 智浩様 コメント

世界中で年間800万トンの海洋ごみが発生しており、2050年には海洋中のプラスチックが魚の重量を上回るかもしれないと言われています。

海に面する本市にとって、海洋プラスチック問題は、重要な課題であると認識しており、改めてプラスチックごみの適正処理や日常生活における3Rの推進をするとともに、プラスチックごみの排出抑制の取組が一層重要になると考えております。

このような状況の中、気候変動とプラスチックによる環境問題への対策に貢献してきたウォータースタンド株式会社と連携体制が築かれることを、大変心強く思っております。

この度の協定により、市内公共施設に給水機を設置し、マイボトルを使用することでプラスチックごみの削減に加え、使い捨て容器の生産・輸送などに必要な資源・エネルギーの削減に取り組んでまいります。

## ■協定の概要

本協定は、ペットボトルやプラスチックごみによる様々な環境問題の解決に向けて、プラスチックごみの削減を推進することを目的とし締結いたしました。同市は2020（令和2）年度を初年度とする第2次袖ヶ浦市環境基本計画において「みんなでつくる 豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち 袖ヶ浦」を目指す環境像に掲げています。同計画の基本目標「環境にやさしい循環型社会を形成するまち」を達成するために、プラスチックごみの削減を含む廃棄物等の適正処理の推進を基本施策とし、市民、民間団体、事業者と行政との連携を強化されて来られました。

本協定の下、市内でのマイボトル用給水機「ウォータースタンド」の設置やマイボトル利用の促進を通じてライフスタイルの変革を呼び掛け、様々な主体との連携による取組を広げ、使い捨てプラスチック製品の使用抑制による温室効果ガスの削減やプラスチックによる環境汚染の防止等につなげて参ります。

## ■袖ヶ浦市の環境政策

袖ヶ浦市は千葉県内有数の工業都市であると同時に、海、山、川などの豊かな自然環境に囲まれ、多種多様な生物が生息する自然豊かなまちでもあります。

同市では、2023（令和5）年7月に「～まちをきれいに～ 袖ヶ浦駅周辺ポイ捨て防止啓発活動」をはじめ、行政・市民・事業者などが連携する機会を定期的に設けられています。また、同8月に発行された『広報そでがうらごみ減量特集号』では、マイボトル・マイカップの使用によるごみの減量を呼びかけ、良好な環境の確保を推進されています。

同市と当社は、脱炭素社会の実現が共に取り組むべき課題という共通認識の下、マイボトル利用環境の整備促進によるライフスタイルの変革を目的とする協定を締結し、マイボトルに給水できるウォータースタンドを設置し、意識浸透と行動変容との両面で持続可能な社会の実現に向け協働して参ります。同時に、当社のこれまでの知見を活用し未来の世代を含めて地域と一体で社会課題解決に寄与して参ります。

## ■ウォータースタンドについて

浄水型ウォーターサーバー「ウォータースタンド」は、ボトル不要でいつでもおいしい飲料水が使える利便性の高さ、運搬や使い捨て容器を必要としないエコな給水システムが支持され、子育て世帯を中心とした個人宅や、SDGs達成に取り組む法人、大学などに支持されています。

### ・当社の使い捨てプラスチックボトル削減に向けた取組

当社は使い捨てプラスチックボトル30億本の削減をミッションに掲げ、袖ヶ浦市を含め全国の地方公共団体・教育委員会と「ボトルフリープロジェクト」を推進しています。当社の「ボトルフリープロジェクト」は、誰もがアクセスできる水道水を活用し環境負荷が少ない給水スタンドを整備し、マイボトル活用を推進するものです。本活動を通じて、使い捨てプラスチック削減・CO2排出抑制による気候変動の緩和と、水分補給による熱中症などの被害・健康増進による気候変動への適応の両立を実現します。この取組への協力を様々な組織・団体等に呼びかけながら、同様の取組を日本全国に拡大していきます。

### ・当社の取組の事例掲載・受賞一覧

- ・令和4年度彩の国埼玉環境大賞「優秀賞」
- ・脱炭素チャレンジカップ2022 「オルタナ最優秀ストーリー賞」

- ・令和3年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」受賞
- ・2021年度日本子育て支援大賞
- ・農林水産省・消費者庁・環境省連携 サステナアワード2020 伝えたい日本の"サステナブル" サステナアワードルーキー賞
- ・経済産業省関東経済産業局 中小企業のSDGs取組事例
- ・国立環境研究所気候変動適応センター 気候変動適応情報プラットフォーム

■自治体との協定締結実績一覧

協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名
2019年 6月	さいたま市 (埼玉県)	2021年 8月	日野町 (滋賀県)	2022年 5月	山梨市 (山梨県)	2022年12月	富田林市 (大阪府)
2019年 9月	薬山町 (神奈川県)	2021年 8月	上尾市 (埼玉県)	2022年 6月	田川市 (福岡県)	2023年 1月	蓮田市 (埼玉県)
2019年 11月	所沢市 (埼玉県)	2021年 9月	島本町 (大阪府)	2022年 6月	日野市 (東京都)	2023年 1月	品川区 (東京都)
2020年 1月	京都市 (京都府)	2021年11月	藤岡市 (群馬県)	2022年 6月	横須賀市 (神奈川県)	2023年 1月	一宮町 (千葉県)
2020年 2月	鎌倉市 (神奈川県)	2021年11月	岡山市 (岡山県)	2022年 7月	鉾田市 (茨城県)	2023年 2月	足立区 (東京都)
2020年10月	世田谷区 (東京都)	2021年12月	直方市 (福岡県)	2022年 7月	佐倉市 (千葉県)	2023年 2月	寒川町 (神奈川県)
2021年 1月	館林市 (群馬県)	2022年 1月	杉並区 (東京都)	2022年 8月	川口市 (埼玉県)	2023年 2月	札幌市 (北海道)
2021年 1月	小田原市 (神奈川県)	2022年 1月	丹波篠山市 (兵庫県)	2022年 8月	熊谷市 (埼玉県)	2023年 2月	豊岡市 (兵庫県)
2021年 3月	川崎市 (神奈川県)	2022年 3月	妙高市 (新潟県)	2022年 8月	小美玉市 (茨城県)	2023年 3月	流山市 (千葉県)
2021年 3月	藤沢市 (神奈川県)	2022年 3月	白岡市 (埼玉県)	2022年 8月	狛江市 (東京都)	2023年 4月	坂出市 (香川県)
2021年 4月	志摩市 (三重県)	2022年 3月	川崎市 (福岡県)	2022年 8月	茅ヶ崎市 (神奈川県)	2023年 4月	唐津市 (佐賀県)
2021年 4月	*春日部市 (埼玉県)	2022年 3月	多摩市 (東京都)	2022年 9月	東村山市 (東京都)	2023年 4月	鹿屋市 (鹿児島県)
2021年 4月	西宮市 (兵庫県)	2022年 3月	神崎町 (千葉県)	2022年 9月	小金井市 (東京都)	2023年 5月	練馬区 (東京都)
2021年 4月	尼崎市 (兵庫県)	2022年 4月	熊取町 (大阪府)	2022年 9月	諏訪市 (長野県)	2023年 5月	神奈川県
2021年 4月	吹田市 (大阪府)	2022年 4月	明和町 (三重県)	2022年10月	木更津市 (千葉県)	2023年 5月	三郷町 (奈良県)
2021年 6月	亀岡市・亀岡市教育委員会 (京都府)	2022年 5月	上野村 (群馬)	2022年10月	行田市 (埼玉県)	2023年 6月	廿日市市 (広島県)
2021年 6月	渋谷区 (東京都)	2022年 5月	町田市 (東京都)	2022年11月	広島市 (広島県)	2023年 6月	門真市 (大阪府)
2021年 6月	泉大津市 (大阪府)	2022年 5月	浜松市 (静岡県)	2022年11月	塩谷町 (栃木県)	2023年 7月	かすみがうら市 (茨城県)
2021年 7月	さいたま市教育委員会 (埼玉県)	2022年 5月	二宮町 (神奈川県)	2022年12月	坂東市 (茨城県)		

\*2022年4月満了

2023年7月31日時点 

【ウォーターズスタンド株式会社 概要】

代表取締役社長：本多 均 (ほんだ ひとし)  
 本社：埼玉県さいたま市大宮区桜木町 4-463 (全国 63 拠点 2023 年 7 月末)  
 設立：1969 年 3 月 資本金：5,000 万円  
 事業内容：水道直結ウォーターサーバー「ウォーターズスタンド」・空気清浄機レンタル

【問合せ先】

ESG 推進室 担当：小野 (おの)  
 TEL：048-657-6731 e-Mail：pr@waterstand.co.jp  
 コーポレートサイト <https://waterstand.co.jp/>  
 サービスサイト <https://waterstand.jp/>